



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

JAHIS実証実験2014 説明資料(共通情報編)

JAHISデータ互換性専門委員会

(1) 実証実験の日程、会場

- ・ 日時: 2014年9月16日(火)～9月20日(土) 午前9時～午後5時
- ・ 場所: 横浜産貿ホール マリネリア (IHE-J コネクタソン会場)

(2) 実施予定テーマ

- ・ 全3テーマ。(患者基本情報、オーダ情報(注射)、生理検査)
※参加状況によって最終決定する予定

(3) 参加予定会社

- ・ 全7社。(富士通、NEC、日立、IBM、SSI、日本光電、フクダ電子)
※参加表明待ち

(4) 費用負担

- ・ 実証実験に関わる自社の費用(作業費、旅費、機器費用など)は各社の負担。
- ・ 実証実験会場費はコネクタソン参加費のみとし、参加費は徴収しない。

(5) 問い合わせ

- ・ 今回の実証実験の専用のMLを開設し、そこで連絡事項やQAなどを行う予定。

(6) 今年度の主なトピック

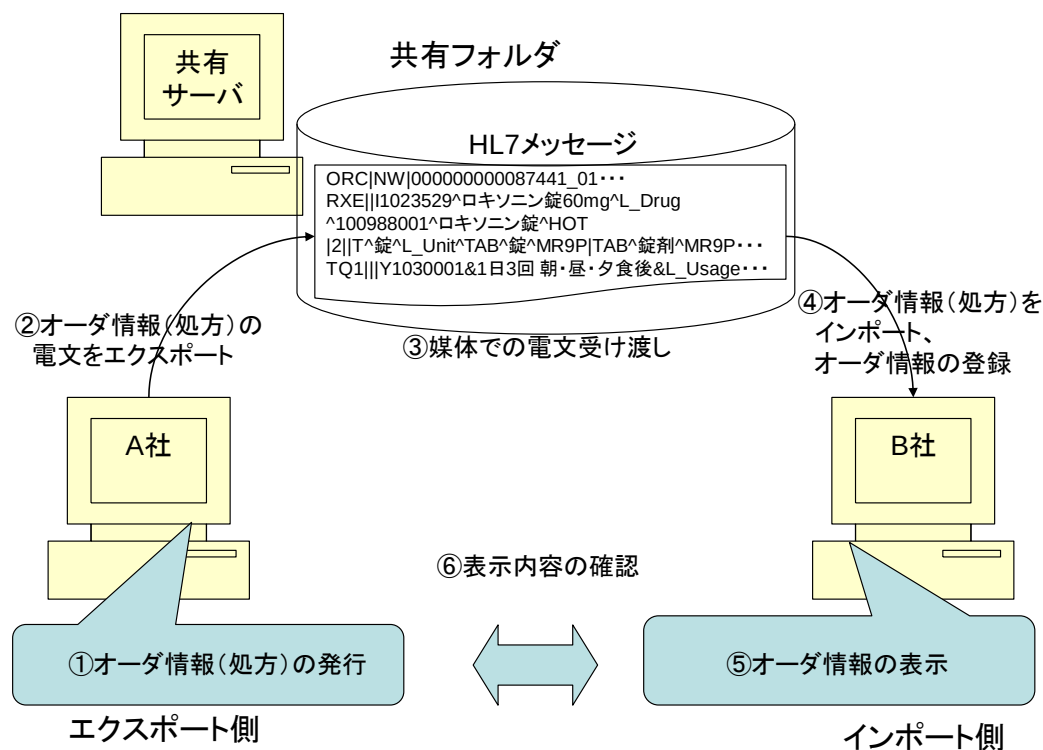
- ・ JAHIS注射データ交換規約Ver.2.0Cの改版内容の検証
 - －IN1セグメントの採用
 - －頓用適用回数、タイミング、投与期間の表現見直し
 - －JHSI表のコーディングシステム名の見直し
 - －用法種別のJHSI表の新規定義
- ・ JAHIS生理検査データ交換規約Ver.2.0に基づく生理検査の実施
- ・ Web審査支援ツールの改善
 - －参加者、審査員間のコメントの「未読」ステータス対応
 - －参加者、審査員間のコメントの最大長の拡大(4KB程度)
 - －審査一覧で選択したシナリオ、テーマのアップロード、ダウンロード対応
etc.

- 7月下旬のWGで参加テーマを表明していただき、その場で実施テーマを最終決定する予定

	データ互換性		生理検査情報
	患者基本情報 ※必須テーマ	オーダー情報(注射)	
富士通(株)			
日本電気(株)			
(株)日立製作所			
日本アイ・ビー・エム(株)			
(株)ソフトウェアサービス			
日本光電(株)			
フクダ電子(株)			

各テーマごとにシナリオを策定し、そのシナリオに沿って実験。

(1) 実験概念図



(データ互換) シナリオに基づいたエクスポートデータを共有サーバの共有フォルダにup。
インポート側のシステムは、そのファイルを取り込み確認。

(2)判定方法

- 各テストの合否判定
 - 審査支援ツールを使用した審査員による目視(電文、画面、ログ)判定
(審査員は各社から最低1名参加し、対戦会社以外の審査員が審査を担当する。)
 - ※エクスポートの審査はエクスポート会社以外の審査員であれば審査可能とする。
- システムとしての合否判定
 - 最低3社との相互接続完了で合格(参加会社の少ないテーマは2社でも可。)

(3)実験結果の反映

実験当日:Web画面にリアルタイムで掲示予定

実験後:星取り表としてJAHISホームページ上に掲載予定

星取り表(JAHIS実証実験2013の結果)

参加会社名	患者基本情報	オーダ情報(処方)
株ソフトウェアサービス	○	○
日本アイ・ビー・エム(株)	○	○
日本電気(株)	○	○
株日立製作所	○	○
富士通(株)	○	○

(4)成果物

実験終了後、エクスポート／インポート共に下記資料を提出

- ・2種類のログ（メッセージ・ログ、アプリケーション・ログ）
- ・自社システムの画面ハードコピー、データベースのダンプ内容

報告書は作成せず反省会で代替する

画面例

The screenshot displays the JAHIS (Ver. 01-01 1.3.3-P23) interface. The top bar shows the user 'CanUser' and the patient name '秋葉原東京'. The main area is divided into several sections:

- Header:** Includes fields for name (秋葉原東京), sex (男性), age (28歳10ヶ月), admission date (2006年1月31日), and patient ID (0001000042).
- Medical History:** A large section for recording medical events, with a '現在' (Current) tab selected.
- Vitals and Lab Data:** Fields for temperature, blood pressure, heart rate, and other vital signs.
- Medication and Allergies:** Sections for recording used medications and patient allergies.
- Activity and Diet:** Fields for recording patient activity levels, diet, and fluid intake.
- Sleep and Rest:** Fields for recording sleep patterns and rest periods.
- Self-Report:** Fields for patient self-reported symptoms and feelings.

メッセージ・ログの例

```
MSH|^~\&|ifProcHL7||RECEIVE||20080205163620.327||ADT^A28^ADT_ZA
1|20080205163620327|P|2.5|||||ISO IR87||ISO 2022-1994
ZVN||20080205163620|||20004^実証^冬子^~~~~~L~~~~~^~ジッショウ^フユコ
~~~~~L~~~~~P|20070130160934|^1310335068010060^KC16
PID|||1301001^~~~~P|||IBM^患一郎^~~~~L^~アイビーエム^カンイチロウ
~~~~~L^P|19650415|M|||1038510^H^東京都中央区日本橋箱崎町19-2
1|13|^PRN^PH~~~~~03-3808-4402~^EMR^PH~~~~~03-3808-
4447^WPN^PH~~~~~03-3808-
4421||||||||||||N|||20070130160934|^1310335068010060^KC16
...
```

アプリケーション・ログの例

02/07 13:30:48 D (C)受信したメッセージの解析結果を
 E:¥civsv300.std9¥bin¥log¥02-1.基本情報-20080207133048-msg-rcv.txt に保
 存します...

02/07 13:30:48 I ZVNセグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I PIDセグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I NK1セグメントを解析しています...

02/07 13:30:48 I 解析結果は以下の通りです

02/07 13:30:48 D [基本] 患者ID=/1501001/
 02/07 13:30:48 D 患者氏名(漢字)=/SSI 患者基本/
 ...

(1) 参照する技術情報(優先順位の高い順)

1. JAHIS基本データセット適用ガイドライン Ver. 2.1

<http://www.jahis.jp/g11-103/>

※ただし、下記のデータ交換規約で変更になった部分はそちらを優先する。

詳細はテーマ別説明資料を参照のこと。

2. JAHIS標準規約

1) 病名情報データ交換規約 Ver. 3.0C

<http://www.jahis.jp/14-002/>

2) 注射データ交換規約 Ver. 2.0C

http://www.jahis.jp/jahis_standard13-007/

3) データ交換規約(共通編) Ver.1.0

http://www.jahis.jp/jahis_standard13-006/

4) 生理検査データ交換規約 Ver. 2.0

http://www.jahis.jp/jahis_standard_seirikensadata13-001/

3. HL7 V2.5 (アクセスキーでの認証あり)

<http://www.hl7.jp/>

(2) 昨年度からの主な変更点

ーインポート時にデータが長すぎて取り込めない場合はエラーリストに出力する
(形式は任意だが以下の情報を出力できること)

- 1) エラー発生日時
- 2) エラー発生個所のメッセージファイル名と行番号
- 3) エラー発生個所のセグメント名、フィールド番号、成分番号、副成分番号
(もしあれば)
- 4) エラーの内容(コード化することが望ましい)
- 5) エラーの原因となったデータの値

~~6) インポート後の値(インポートできた場合)~~

(3) 主な注意点

- 1) 標準規約、標準マスター以外のCS名はローカル・コードを含め99zzz形式とする。
 - ー使用する共通コードのCS名をテーマごとに事前指定。
 - ーローカル・コード用のCS名は各社で任意に指定する。
ただし、99Zzz形式でかつ共通コード用のCS名とかぶらないこと。
 - ーローカル・コードのみの出力はNG
- 2) HL7協会の適合性認定での指摘事項に対応する。
 - ー住所・区分コードは出力しない。(患者)
 - ーORC-18(入力装置)にコーディング・システム名を出力する。(注射)
 - ーRXR-2(部位)ではコード表としてHL70550を使用する。それに伴ってRXR-6(投薬現場モディファイア)を使用する。(注射)
 - ー「使用上のルール」に則って審査支援ツールを使用する。
- 3) コード変換する場合、ローカル・コードと標準コードの対応表を別途提出する。
(ポリシー値は○)

(3) 主な注意点

- 4) 備考欄への記載要件は昨年と同様とする。
 - ーコメントを含むすべての項目でカタカナ、記号の全角、半角の違いは問わない。(ポリシー値は○)
 - ー日付(和暦を除く)、時刻、郵便番号、電話番号のフォーマットの違いは問わない。(ポリシー値は○)
 - ー予定時刻の秒の有無や違いは問わない。(ポリシー値は○)
 - ー名称をマスターから取得して出力／取り込む／表示する場合は備考欄への記載は不要とする。(ポリシー値は▲)
- 5) 最大長審査を今年も実施する。
 - ー「最大長」というダミー会社のメッセージをインポートする。
 - ーインポートできない場合にエラーリストに前述の内容が出力されることを審査する。
 - ーコメントなど可変長のフィールドのみを審査の対象とする。

(3) 主な注意点

6) 必須フィールドにセットする値がない場合は、代わりに「””」をセットする。

7) その他

- － エクスポート審査時の比較対象は画面ではなくDB内のデータとする。
- － DBの内容を出力するスクリプトの準備を求める。
- － 新たに○にする項目(テーマごとに1個以上)を参加各社が事前に表明する。
(努力目標)

(4) 患者IDの命名規則、桁数

××△△＊＊＊＊＊＊

・桁数:10桁

・命名規則

××:会社ごとに割り振る一意な番号(参加会社で一意)

△△:テーマごとに割り振る一意な番号

＊＊＊＊＊＊:任意の数字

※××△△は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	データの互換性のテーマ		
		①患者情報 (基本情報)	④オーダ情報(注 射)/実施情報 (注射)	⑤生理検査
		テーマID:01	テーマID:04	テーマID:05
11	富士通(株)	1101*****	1104*****	1105*****
12	日本電気(株)	1201*****	1204*****	1205*****
13	日本アイ・ビー・エム(株)	1301*****	1304*****	1305*****
14	(株)日立製作所	1401*****	1404*****	1405*****
15	(株)ソフトウェアサービス	1501*****	1504*****	1505*****

(5)使用する共通マスター

利用者マスター

利用者ID	漢字氏名	カナ氏名	職種
10001	実証 一郎	ジッショウ イチロウ	医師
10002	実証 二郎	ジッショウ ジロウ	医師
10003	実証 三郎	ジッショウ サブロウ	医師
10004	実証 四郎	ジッショウ シロウ	医師
10005	実証 五郎	ジッショウ ゴロウ	医師
20001	実証 春子	ジッショウ ハルコ	看護師
20002	実証 夏子	ジッショウ ナツコ	看護師
20003	実証 秋子	ジッショウ アキコ	看護師
20004	実証 冬子	ジッショウ フユコ	看護師

病棟

病棟コード	病棟名
031	3A
032	3B
041	4A
042	4B

病室(各病棟共通)

病室コード	病室名
01	01
02	02
03	03
04	04
05	05

ベッド(各病室共通)

ベッドコード	ベッド名
1	1
2	2
3	3
4	4

診療科(CS名:99Z01)

診療科コード	診療科名	診療科コード	診療科名
01	内科	21	性病科
02	精神科	22	こう門科
03	神経科	23	産婦人科
04	神経内科	24	産科
05	呼吸器科	25	婦人科
06	消化器科	26	眼科
07	胃腸科	27	耳鼻いんこう科
08	循環器科	28	気管食道科
09	小児科	29	理学診療科
10	外科	30	放射線科
11	整形外科	31	麻酔科
12	形成外科	32	人工透析科
13	美容外科	33	心療内科
14	脳神経外科	34	アレルギー
15	呼吸器外科	35	リウマチ
16	心臓血管外科	36	リハビリ
17	小児外科		
18	皮膚ひ尿器科		
19	皮膚科		
20	ひ尿器科		

※生理検査の場合は「08:循環器科」固定とする

(6) エクスポートファイルのファイル命名規則

<会社ID><会社英名>_<テーマID>_<シナリオNo>_<データ内容>.hl7

※会社ID,会社英名は以下の通り

会社ID(上2桁XX)	参加会社名	英名
11	富士通(株)	fujitsu
12	日本電気(株)	nec
13	日本アイ・ビー・エム(株)	ibm
14	(株)日立製作所	hitachi
15	(株)ソフトウェアサービス	softs
16	日本光電工業(株)	kohden
17	フクダ電子(株)	fukuda

※テーマIDは以下の通り

テーマID	テーマ名
テーマ01	患者情報
テーマ04	オーダー情報(注射)/実施情報(注射)
テーマ05	生理検査

※シナリオNoは、「シナリオ1」「シナリオ2」「シナリオ3」のいずれか

※データ内容は、以下の通り

データ内容	データの内容
患者	患者情報
注射	オーダー情報(注射)/実施情報(注射)
生理③-S	生理検査

※アップロード時はWeb審査支援ツールがこの命名規則に沿って自動的にリネームするので、手元のファイルの名前は気にしなくてよい。

※生理検査のデータ内容は、「生理+NO-S/R」とする。
NO:トランザクション番号(③~⑧)、S:通知、R:応答

※例:IBMがオーダー情報(処方)のテーマのシナリオ3で出力した最新の患者情報の場合

「13ibm_テーマ03_シナリオ3_患者.hl7」

生理検査

データ互換性

(1) 実証実験専用メーリングリストの利用方法

質問に合わせて表題を下記規則に従って記載

- ・ 共通情報編 → 【共通】
- ・ データの互換性 → 【テーマ名】
- ・ 生理検査 → 【生理検査】
- ・ その他事務連絡 → 【その他】

(2) 実証実験に関する主なイベント

データ互換性

- 7月4日 参加会社内説明資料読み合わせ
- 7月30日(仮) WGにて参加テーマ表明、メールにてML登録ユーザー一覧提出
- 8月上旬 実証実験用ML開設
- 8月上旬 事前検証ツールの配布
- 8月下旬 ポリシー、データ一覧の事前提出期限(新たに対応する項目含む)
- 9月上旬 事前審査結果の個別フィードバック
- 9月上旬 審査員担当予定表の提出
- 9月16日~9月20日
実証実験本番
- 10月上旬 反省会(データ互換性専門委員会にて)
- 11月中旬 JAHISホームページへの結果掲載

(3) 参加会社への依頼事項

1. 参加テーマの表明、ML登録ユーザー一覧の提出(※)(7月下旬WG)
2. 以下の情報の事前提出(8月下旬)
 - －エクスポート・ポリシー、インポート・ポリシー(「ポリシー一覧」シート×テーマ数)
 - －エクスポート・データ一覧(「データ一覧」シート×シナリオ数)
 - －標準コード、ローカルコード間変換表
 - －新たに対応する項目
3. 審査員担当予定表の提出(9月**中上**旬)
4. 個別フィードバックへの対応(実証実験当日まで)
5. 審査用 Note PCの持参(実証実験当日)
 - －無線LAN対応推奨
 - －**Microsoft Officeが導入されていること(2010以上を推奨)**
6. 反省会への積極的な参加(10月上旬)

※会社単位でメールにてIBM木村(e23527@jp.ibm.com)まで送付してください。

(4) 作業場所、電源、IPアドレスなど

IHE-Jコネクタソン用に各社で確保したものの中でまかなう。

実験用機器および審査用PCのIPアドレスは業務用として余分に申請する。